



日本同盟基督教団

児童発達支援・放課後等デイサービス

ジョイジョイ

2018年6月1日 NO.10

ジョイジョイだより

日頃より、ジョイジョイを利用いただきありがとうございます。

新年度になり、新しいクラスや新しい担任の先生との関わりに戸惑っていた子どもたちの姿もありましたが、ようやく慣れてきたようですね。家庭訪問などもあり、保護者の方々にとっては、担任の先生を通して、お子さんが方の様子も聞けたのではないかと思います。

そろそろ緊張の糸も切れて、疲れる頃ですが、ジョイジョイでは、子どもたちの一言に耳を傾けながら、子どもの心に寄り添える支援をしていきたいと思っております。

ジョイジョイでは、4月よりスタッフも増やして始まりました。現在、児童指導員3名、保育士4名、指導員3名、社会福祉士・精神保健福祉士2名、ボランティア2名で子どもたちと関わっています。(重複資格者有) どうぞよろしくお願いいたします。

管理責任者 吉持 早稚子

リトルジョイ

保育園、幼稚園での活動を終えてからのジョイジョイはその日の高ぶった気持ち、疲れ、不満等を抱えていることを一旦受けとめ、できるだけその子らしく安心して過ごせるように支援していきたいと思っています。

今は、全員男の子ということもあり、外に出てだんご虫取りや、追いかっこ、電車の線路を作ったり、じゃんけんゲームをしたり、共通の関心事が多くある様子です。

ジョイジョイ

新学期、初めて会うお友だちもいて、ドキドキしている子どもたちがたくさんいました。ようやくお互いの名前を覚え始めています。

ジョイジョイでは1学期、夏野菜を植え、

植物のお世話を通して、食べ物への関心や植物の成長をともに喜びあえる環境作りをしています。

今年度はきゅうり、トマト、ピーマン、スイカ、カボチャを植えました。収穫が楽しみです。



—お知らせ—

(ジョイペアレンツの会について)

5名の方が集い、「発達障害ってなんだろ う？」というテーマで本を読みながら学びました。日頃、困っていること、疑問などを皆さんとシェアする時間が持てました。

次回：6月18日(金) 10時30分から

—お家でLet's Try—



「タッチング遊び」『発達障害の子の感覚遊び・運動遊び』監修 木村順 講談社より

(ねらい) 触覚の識別系が働く。ボディーイメージ作りにも役立つ。

※触覚の識別系とは?…触ったものの大きさ、形、素材を判断する時に使う皮膚感覚(効果)のりや粘土など、触れる素材も増え、歯磨きや爪切りを嫌がるが減る。

- ① 家にあるものでタッチングに使えそうな物を探す。(スポンジ、ブラシ、たわしなど)
- ② 用意したものを子どもに見せ、遊びの説明をする。道具を子どもの腕に当て、嫌がらない物を探す。※道具を嫌がる場合は親が素手でタッチングするとよい。
- ③ 腕やすねなど、子どもが嫌がらないところからスタート。道具を子どもの肌に直接当て、少し強めに押しつける。こすらない。
- ④ 子どもが注意を向けるようになったら、さわる部位を動かす。
腕から手、手の指へ、肩から首、背中へ、すねからもも、腰、おなかへ
- ⑤ ほかの部位でも行う。最終的には首すじや口元など、子どもがさわられるのを苦手としているところにタッチングする。

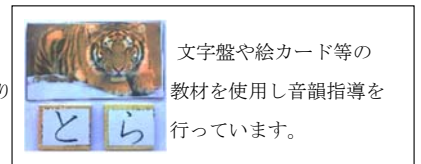
●回数を目安：週2、3回、5分程 ●程度を目安：注意を向けるくらいの強さ

●挑戦：苦手な部分は数か月がかりで

—トレーニング—

ジョイジョイでは、滋賀大キッズカレッジの先生による音韻指導の研修を受けたスタッフがいます。現在は2名のスタッフが毎月滋賀大キッズカレッジに行き、学習ボランティアを行いスキル向上に取り組んでいます。また、事業所内研修も行い、音韻指導方法を共有し、トレーニングに励んでいます。

※音韻指導とは…言葉(単語)を構成する「音」(音節)を分解する、取り出す、反対から言う、ある音を取り去り残りの言葉と言うなど、言葉を操作できるように訓練すること。



文字盤や絵カード等の教材を使用し音韻指導を行っています。



『発達障害とその子らしさ』

田中 哲

いのちのことば社

(終りの会について)

毎回、ジョイジョイでは最後の15分間、終りの会をしています。聖書の話、賛美(教会で歌う歌)、お祈りをしています。今月は旧約聖書のヤコブさんのお話を通して、神さまは人の思惑を超えてご計画を進められることを知りました。